

第4次
砂川市子ども読書活動推進計画
(令和8年度～令和12年度)



令和8年3月
砂川市教育委員会

も く じ

第 1 章 砂川市子ども読書活動推進計画の基本的な考え方

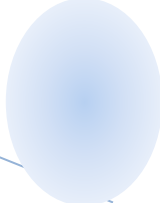
1	計画策定の趣旨	1
2	子どもの読書活動の背景と意義及びその推進	2
3	基本理念	3
4	基本目標	3
5	計画の性格	3
6	計画期間	3
7	対象	3

第2章 子ども読書活動の推進のための方策

1	第1節 基本目標（1）【家庭、学校、地域、市における読書活動の推進】	4
2	第2節 基本目標（2）【読書活動推進のための環境整備】	7
	用語解説	9

資料編

1	「読書活動に関するアンケート」回答結果	1
2	図書館運営状況	10
3	子どもの読書活動の推進に関する法律	11
4	第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要	13
5	北海道子どもの読書活動推進計画〈第五次計画〉【概要版】	15
6	発達段階に応じた読書活動	17



第1章 砂川市子ども読書活動推進計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

国は、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律※1」（以下、「子ども読書推進法」という。）を公布、施行し、子どもが自主的に読書を行うことができるよう、その環境を整備する読書活動の基本的方向性を示し、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第1基本計画）※2」を策定して以降、成果や課題、諸情勢の変化などの見直しを行いながら、現在は、第5次基本計画（以下「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」という。）に基づき、読書推進施策を進めています。

これを受けて、北海道は平成15年11月に「北海道子どもの読書活動推進計画※3」を策定して以降、取組の成果と課題をふまえて見直しを行いながら、令和5年には「北海道子どもの読書活動推進計画〈第5次計画〉」を策定し、北海道のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動が行うことができるよう、社会全体での読書活動の推進と環境の整備を進めています。

こうした状況をふまえ、砂川市においても、子どもの読書活動・読書環境の充実に向け、それまで進めてきた取組を整理・体系化し、総合的・計画的に事業を推進するため、平成23年に「第1次砂川市子ども読書活動推進計画」（以下、「第1次計画」という。）を策定しました。この第1次計画の事業などの評価を行い、平成28年に「第2次砂川市子ども読書活動推進計画」（以下、「第2次計画」という。）、令和3年に「第3次子ども読書活動推進計画」（以下、「第3次計画」という。）を策定しました。

第3次計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間と定めて、子どもの読書推進活動に取り組んできましたが、計画期間が終了するため、国・道の計画や子どもの読書に関するアンケート調査（以下、「子ども読書アンケート」という。）結果などをふまえ、子どもの読書活動の普及・啓発・実践に取り組む指針として「第4次砂川市子ども読書活動推進計画」（以下、「第4次計画」という。）を策定し、令和8年度以降の子どもの読書活動を進めていきます。

2 子どもの読書活動の背景と意義及びその推進

近年の特徴として、インターネット・スマートフォンの普及、それを活用したSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などのコミュニケーションツールの多様化が進んでいます。また、新型コロナウイルス感染症の発生・拡大によって学校図書館が一定期間利用制限され、図書館においても、臨時休館や入館人数制限を余儀なくされました。こうした状況が、子どもの読書活動にも影響を与えた可能性が指摘されています。

子どもの読書活動は「子ども読書推進法」において、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの」として大きな意義があります。

生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するためには、乳幼児期から「発達段階に応じた読書活動※4」が行われるよう配慮しながら、乳幼児期から切れ目ない読書活動の推進を目指す必要があります。そのために、家庭、学校、地域、市が相互に連携・協力して取組の充実・促進を図り、読書活動を推進します。



乳幼児向けおはなし会



高校生向け読み聞かせ講座



放課 GOGO「読書タイム」

3 基本理念

子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、環境整備を推進します

この計画における基本理念は、「第1次計画」「第2次計画」「第3次計画」の趣旨を引き継ぎ、砂川市の全ての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にその環境整備を推進します。

4 基本目標

この計画の基本理念を実現するため、次の2つの基本目標を柱に据え、家庭、学校、地域、市が連携・協力し、子どもの自主的な読書活動を推進します。

- (1) 家庭、学校、地域、市における読書活動の推進
- (2) 読書活動推進のための環境整備

5 計画の性格

この計画は、「子ども読書推進法」第9条第2項の規定に基づき、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び北海道の「子どもの読書活動推進計画」をふまえ、砂川市のまちづくりの指針である「砂川市第7期総合計画※5」、「砂川市教育推進計画※6」などとの整合性を確保し、個別計画として、子どもの読書活動の推進のために家庭や学校、関係機関・団体が相互に連携・協力しながら、地域全体で子どもの読書活動の推進に取り組むための方向性を示すものです。

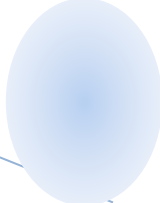
6 計画期間

この計画は、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とし、子どもの読書活動を取り巻く情勢の変化をふまえて、必要に応じて見直しを行うこととします。

7 対象

この計画は、0歳から18歳まで対象とします。

また、その保護者及び子どもの読書活動と関わる大人も対象とします。



第2章 子ども読書活動の推進のための方策

第1節 基本目標（１）【家庭、学校、地域、市における読書活動の推進】

子どもが読書習慣を身に付け、自主的な読書活動を推進するために、家庭、学校、地域、さらには、図書館、幼稚園・保育所など、子どもの読書活動に携わる機関が相互に連携・協力しながら、子どもの発達段階に応じた読書活動が行われるよう、積極的に取組を推進します。

【現状 令和7年度実施「子ども読書アンケート」結果より】

平成23年度より実施している「ブックスタート事業※7」では、絵本を通じて赤ちゃんが家族がふれあうきっかけづくりを行い、子ども読書アンケートにおいても、乳幼児の保護者・小学生の保護者への設問「ブックスタート事業の絵本を子どもに読み聞かせたか」で「よく読んだ」・「ある程度読んだ」が9割を超えています。小中学生への設問「本を読むことは好きか」で「好き」・「やや好き」の割合も小学生では7割越え、中学生でも7割近くとなっており、乳幼児期における読み聞かせが、その後の読書活動へと繋がっていると思われます。

幼稚園・保育所などにおいては、日々の読み聞かせの実施や、本の貸出の取組が進められており、幼児期において子どもが本に出会うための重要な場となっています。

学校においては、図書に関する委員会活動を中心とした読み聞かせ講座など、自主的な読書活動の定着のために様々な取組が行われています。図書館からの学校への読書活動支援として、「砂川市図書館 読書活動お役立ちメニュー」を活用した学校への図書の配本などの貸出文庫の利用、図書館職員やボランティアによる出張おはなし会を実施し、児童生徒が読書に興味を持てるような取組や環境づくりを進めています。

また、図書に関する委員会活動での読み聞かせ講座の実施、図書館の発行する新着図書案内は小学生向けと中学生向けを作成して紹介する内容について対象に沿ったものにするなど、発達段階に応じた子どもの読書活動を支えています。

図書館においては、乳幼児とその保護者、小学生を対象としたおはなし会、図書館業務体験や手作り絵本製作体験を行い、子どもの発達段階に応じて、読書への意欲を高め、関心を広げるような事業を実施してきました。

【課題 令和7年度実施「子ども読書アンケート」結果より】

子ども読書アンケートで、幼稚園・保育所の保護者への設問「子どもの読書は大切だと思うか」の設問では、9割以上が「大切だと思う」・「どちらかといえば大切」と回答、「ブックスタート事業は子どもが絵本を楽しむきっかけになったか」で、9割以上が「はい」と回答し、さらに「家庭で読み聞かせを行っているか」の設問では、「行っている」と回答した保護者が前回の調査（令和2年度実施）より10.4%増加しており、ブックスタート事業が読書へのきっかけづくりとなっている一方、「子どもは読み聞かせや本を読むことが好きか」の設問では、「好き」・「やや好き」の回答が前回の調査より5.6%減少していることから、今後も継続して取り組む必要があります。

学校においては、小中学生への設問「本を読むことは好きか」で、「好き」・「やや好き」が7割を超えている反面、小学生では「やや嫌い」「嫌い」が2割を超えています。また、「ひと月に何冊以上の本を読むか」では、「月10冊以上」が若干増加傾向にある一方で、小学生では「月0冊」の割合が増加しており、読書に興味や関心を持つ子どもと持たない子どもの差が広がりつつあることが課題となっています。

また、図書館においては、新型コロナウイルス感染症の影響で、長期間に及ぶ休館や様々な読書推進事業の中止など、家庭や学校に対して読書活動の啓発や関連事業を行うことができない期間がありました。

【今後の方向】

赤ちゃんや保護者が絵本と出会うきっかけになるブックスタート事業や、図書館や幼稚園・保育所などでの読み聞かせの機会の充実、保護者への読書活動に関する啓発や情報発信など、家庭への支援に努めていく必要があります。

学校においても、本や物語に親しむ事業の出張おはなし会の実施、自主的・自発的学習の調べ学習の支援、読書に関する情報提供など、子どもの自主的な読書活動を支える取組を進めます。

地域からは、子ども読書活動ボランティアによる読書活動への協力が得られており、今後もさらなる活動の充実が必要となってきます。

図書館においても、継続的な読み聞かせの実施による読書習慣の定着・促進、図書館業務体験や手作り絵本製作体験などの参加型事業の実施による読書に対する興味喚起や図書館の利用促進に加え、図書館の持つ拠点機能や専門性を有効活用しつつ、幼稚園・保育所・学校をはじめとした子どもの読書に携わる機関・部署と連携しながら、市全体で子どもの読書活動の機会を効果的に提供できるような取組を行います。

【具体的な取組】

- ① 家庭における読書活動を推進する取組
 - ・ブックスタート事業の実施やフォローアップ事業の検討
 - ・読み聞かせなどの読書推進事業の充実
 - ・保護者への読書に関する啓発や積極的な情報発信の実施
 - ・「家読（うちどく）※8」の取組の推進
- ② 学校における読書活動を推進する取組
 - ・朝読の取組への支援
 - ・読書推進活動の実施
 - ・自主的・自発的な読書活動への支援
 - ・児童生徒向けの図書情報の提供
 - ・学校からの図書館見学、職場・職業体験の受入
- ③ 地域における読書活動を推進する取組
 - ・幼稚園・保育所など、子ども読書推進活動の実施や情報提供の充実
 - ・読書推進活動へのボランティアの参加・活動の促進
- ④ 関係施設における取組
 - ・北海道立図書館などの関係施設との連携



読み聞かせ事業
（おはなしのいずみクリスマススペシャル）



ブックスタート事業での読み聞かせ

第2節 基本目標（2）【読書活動推進のための環境整備】

全ての子どもが、好きな本を手にとったり、必要な資料を調べたりすることができるよう、図書館、学校、関係機関、子どもの読書活動に携わる地域の人材が相互に連携・協力しながら取り組みます。また、図書館及び学校図書の資料や施設・設備の充実を図り、子どもが身近な場所でいつでも読書ができる環境の整備を進めます。

【現状】

図書館においては、令和2年度から令和7年度までに児童書 3,000 冊以上を受入し、34,519 冊（令和7年3月31日現在）を蔵書しています。

令和4年度に館内照明のLED化工事を行い、令和7年度からは館内での一部飲料の利用が可能になるなど、来館する子どもや保護者、児童生徒が利用しやすい環境を整備しました。また、令和6年度からはLINEによる図書情報の発信を開始し、積極的な情報発信を進めました。さらに、寄付金で小学生向けの図書の他に中高生向けの図書（以下YA図書）を購入し、蔵書の充実を図りました。

学校においては、令和4年度より希望する学校への定期的な本の配送（貸出文庫巡回方式）の活用や図書資料購入・蔵書管理についての相談により、児童生徒の身近に本がある環境づくりに努める取組が進んでいます。また、砂川学園では、蔵書をデータ化して図書管理システムによる運用を行い、貸出・返却や検索が容易になることで学校図書の利用促進が図られます。

さらに、子ども読書活動ボランティアにおいては、図書館や学校、関係機関と連携・協力しながら読書推進活動を実施し、子どもと本を結びつける役割を担っています。

【課題】

図書館は、昭和58年2月の開館以来、約40年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、計画的な整備を図る必要があります。蔵書の充実や書架の配置の工夫などにより、気軽に訪れることのできる環境づくりが重要となってきます。

学校においては、砂川学園での図書スペースの蔵書の充実が今後の課題となっています。これまで、学校図書館の環境改善を目的として、図書館職員による図書購入の情報提供や受入時の分類方法、図書室のレイアウトのアドバイス、本の修理などの講習会を実施しました。さらには、ボランティアを活用した読書推進活動への支援を行っていましたが、砂川学園の図書スペースに対しても継続的な支援が必要になっていきます。

【今後の方向】

図書館がその拠点機能や専門性を十分に発揮できるよう、ニーズに応じた図書資料の整備を図り、利用しやすい施設・設備の維持に努めることで、全ての子どもが本や読書に親しむ環境づくりを進めます。また、子ども読書活動ボランティアとの連携・協力を強化し、子どもの読書活動の推進に努めます。

学校図書は、子どもにとって自由に読書を楽しむ場として、調べ学習などで自主的な学習を支える場として読書習慣を育むために欠かせない重要な施設であることから、発達段階に応じた多様な蔵書の充実を図る必要があります。

【具体的な取組】

① 図書館における環境整備を推進する取組

- ・全ての子どもに対応した資料の整備や情報提供の充実
- ・計画的な施設・設備の整備、充実
- ・中高生向けの図書の充実

② 学校図書における環境整備を推進する取組

- ・貸出文庫巡回方式の活用による学校図書の充実
- ・学校図書運営相談や委員会活動への図書館による支援
- ・学校図書担当教員への読書推進活動に関する研修の支援
- ・ボランティアの導入などによる地域との連携体制の支援
- ・図書管理システム活用による学校図書の利用促進

③ 子ども読書推進活動に関する環境整備を推進する取組

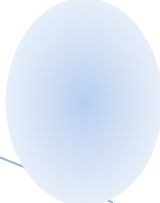
- ・子ども読書活動ボランティアの人材確保・育成
- ・巡回文庫などによる図書資料の充実



児童書の展示コーナー



子ども読書活動ボランティアの活動の様子



【用語解説】

※1 「子どもの読書活動の推進に関する法律」

すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、そのための環境整備の推進を求める法律。（条文は資料編に掲載）

※2 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、全ての子供があらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、環境の整備を積極的に推進することを基本理念として国が定めた計画。

※3 「北海道子どもの読書活動推進計画」

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、北海道の全てのこどもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、環境づくりを進めるために北海道が策定した計画。

※4 「発達段階に応じた読書活動」

「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第5次基本計画）」より。（詳細資料は資料編17Pに掲載）

※5 「砂川市第7期総合計画」

砂川市の最上位計画と位置付け、市民と行政が共有するまちづくりの指針として市が策定した計画。「自然に笑顔があふれ明るい未来をひらくまち」を目ざす都市像としている。

※6 「砂川市教育推進計画」

「砂川市第7期総合計画」や「砂川市教育目標」をふまえ、これからの砂川市の教育の方向性と具体的な取組を総合的かつ体系的に明確にするために教育委員会が策定した計画。

※7 「ブックスタート事業」

乳幼児健康診査の機会に、赤ちゃん絵本を開くことの大切さや楽しさを保護者に伝えながら、絵本などの入ったブックスタート・パックを無料で手渡し、読書への関心を深めるとともに親子のふれあいの時間を持てるよう支援する事業のこと。

※8 「家読（うちどく）」

家庭での読書を通して、家族のコミュニケーションを図ろうという取組のこと。

砂川市子ども読書活動推進計画

資 料 編

「子どもの読書に関するアンケート調査」回答結果

1. アンケート期間：令和7年9月9日（火）～令和7年9月19日（金）

2. アンケート方法：幼稚園・保育園・学校をとおして配布・回収を行なう。

※保護者向けの調査票が兄弟がいるなどで複数届いた場合は、
対象児童・生徒ごとに回答する

3. アンケート調査の対象と回収結果

区分	対象者		対象数	回収数	回収率
①乳幼児の保護者	市内各保育所・幼稚園の保護者	7年度	69	51	73.9%
		2年度	93	64	68.8%
②小学生および中学生	市内各小学校3・5年生	7年度	175	124	70.9%
		2年度	280	221	78.9%
	市内各中学校1年生	7年度	109	98	89.9%
		2年度	121	104	86.0%
③小学生及び中学生の 保護者	小学生の保護者	7年度	175	124	70.9%
		2年度	401	325	81.0%
計		7年度	528	397	75.2%
		2年度	895	714	79.8%

4-1 乳幼児の保護者

1. あなたの年代は（有効回答数：51/51）

	20代		30代		40代		50代		60代	
7年度	4	7.8%	35	68.6%	12	23.5%	0	0.0%	0	0.0%
2年度	7	10.9%	35	54.7%	22	34.4%	0	0.0%	0	0.0%

2. 本を読むことが好きか（有効回答数：51/51）

	はい		いいえ		どちらでもない	
7年度	23	45.1%	11	21.6%	17	33.3%
2年度	32	50.8%	5	7.9%	26	41.3%

3. 本を読む頻度（有効回答数：51/51）

	ほぼ毎日		週に1回		月に1回		年に1～6回		1年読んでない	
7年度	6	11.8%	9	17.6%	6	11.8%	11	21.6%	19	37.3%
2年度	13	20.3%	11	17.2%	8	12.5%	25	39.1%	7	10.9%

4. 本の入手方法（複数回答可、有効回答数：86）

	書店・コンビニ・スーパー		ネットショッピング		図書室・学級文庫		砂川市図書館		他の図書館		知人から	
7年度	23	26.7%	24	27.9%	1	1.2%	9	10.5%	7	8.1%	4	4.7%
2年度	66	45.5%	26	17.9%	—	—	16	11.0%	6	4.1%	9	6.2%

	電子書籍		その他	
7年度	14	16.3%	4	4.7%
2年度	21	14.5%	1	0.7%

【その他】

・ 保育園や家にあるもの。

5. 電子書籍を利用する理由

（複数回答可、有効回答数：10）

	すぐに入手可能		場所を取らない		機能面の充実		その他	
7年度	6	60.0%	3	30.0%	1	10.0%	0	0.0%
2年度	15	55.6%	11	40.7%	0	0.0%	1	3.7%

6. 読書量や読書時間に満足しているか（有効回答数：51/51）

	十分満足		やや満足		やや満足できない		全く満足できない		どちらとも言えない	
7年度	11	21.6%	8	15.7%	10	19.6%	12	23.5%	10	19.6%
2年度	11	17.5%	9	14.3%	19	30.2%	11	17.5%	13	20.6%

7. 6. で「やや満足できない」「全く満足できない」理由は何か（複数回答可、有効回答数：28）

	読む時間がない		買う・借りる時間がない		読みたい本が見つけれない		読書の環境がない		その他	
7年度	20	71.4%	1	3.6%	3	10.7%	3	10.7%	1	3.6%
2年度	28	66.7%	5	11.9%	3	7.1%	6	14.3%	0	0.0%

【その他】

- ・子どもが小さく本を破いたりするため。

8. 「ブックスタート」という事業を知っているか（有効回答数：51/51）

	体験した		未体験だが知っている		聞いたことがある		全く知らない	
7年度	28	54.9%	2	3.9%	4	7.8%	17	33.3%
2年度	44	69.8%	0	0.0%	2	3.2%	17	27.0%

9. 8. で「体験した」方、ブックスタート事業の絵本を子どもに読み聞かせたか（有効回答数：28）

	よく読んだ		ある程度読んだ		あまり読んでない		全く読んでない	
7年度	18	64.3%	8	28.6%	1	3.6%	1	3.6%
2年度	32	72.7%	10	22.7%	2	4.5%	0	0.0%

10. 8. で「体験した」方、ブックスタート事業は子どもが絵本を楽しむきっかけになったか（有効回答数：18）

	はい		いいえ		どちらとも言えない	
7年度	16	88.9%	0	0.0%	2	11.1%
2年度	31	91.2%	1	2.9%	2	5.9%

11. 子どもは読み聞かせや本を読むことが好きか（有効回答数：51/51）

	好き		やや好き		やや嫌い		嫌い		どちらとも言えない	
7年度	32	62.7%	9	17.6%	1	2.0%	0	0.0%	9	17.6%
2年度	39	60.9%	16	25.0%	1	1.6%	0	0.0%	8	12.5%

12. 家庭で読み聞かせを行っているか（有効回答数：51/51）

	行っている		関心はあるが行っていない		関心がないので行っていない		その他	
7年度	38	74.5%	6	11.8%	6	11.8%	1	2.0%
2年度	41	64.1%	18	28.1%	3	4.7%	2	3.1%

【その他】

- ・子供が読んでほしいときたら読み聞かせを行っている。

13. 12. の「行っている」の頻度（有効回答数：38）

	ほぼ毎日		2～3日に1回		週に1回		月に1回		年に1～6回	
7年度	10	26.3%	14	36.8%	12	31.6%	2	5.3%	0	0.0%
2年度	15	38.5%	9	23.1%	12	30.8%	3	7.7%	0	0.0%

14. 12. で「関心はあるが行っていない」とした理由（複数回答可、有効回答数：11）

	読む時間がない		買う・借りる時間がない		本が見つからない		幼稚園・保育園でしてもらっている		子どもがひとりで読む		興味を示さない	
7年度	4	36.4%	1	9.1%	1	9.1%	2	18.2%	0	0.0%	3	27.3%
2年度	17	56.7%	1	3.3%	2	6.7%	5	16.7%	2	6.7%	3	10.0%

	良さがわからない		その他	
7年度	0	0.0%	0	0.0%
2年度	0	0.0%	0	0.0%

15. 子どもの読書は大切だと思うか（有効回答数：51/51）

	大切だと思う		どちらかといえば大切		どちらかといえば大切ではない		大切ではない	
7年度	37	72.5%	13	25.5%	0	0.0%	1	2.0%
2年度	—	—	—	—	—	—	—	—

4-2 小学3・5年生、中学1年生

1. あなたの学年（有効回答数：小学生：124/124、中学生：98/98）

小学3年		小学5年		中学1年	
55	44.4%	69	55.6%	98	100.0%

2. 本を読むことは好きか（有効回答数：小学生：121/124、中学生：97/98）

		好き		やや好き		やや嫌い		嫌い		どちらでもない	
小学生	7年度	43	35.5%	44	36.4%	13	10.7%	14	11.6%	7	5.8%
	2年度	76	34.7%	85	38.8%	19	8.7%	23	10.5%	16	7.3%
中学生	7年度	27	27.8%	39	40.2%	8	8.2%	8	8.2%	15	15.5%
	2年度	41	40.6%	31	30.7%	11	10.9%	8	7.9%	10	9.9%

3. ひと月に何冊くらいの本を読むか（有効回答数：小学生：123/124、中学生：98/98）

		月10冊以上		月5～9冊		月3～4冊		月1～2冊		月0冊	
小学生	7年度	19	15.4%	8	6.5%	28	22.8%	38	30.9%	30	24.4%
	2年度	28	12.7%	28	12.7%	52	23.5%	73	33.0%	40	18.1%
中学生	7年度	4	4.1%	5	5.1%	17	17.3%	47	48.0%	25	25.5%
	2年度	4	3.9%	5	4.9%	15	14.7%	51	50.0%	27	26.5%

4. 読む本のジャンル（複数回答可、有効回答数：小学生：178、中学生：124）

		絵本		物語・小説		ドキュメント		科学もの		趣味の本	
小学生	7年度	33	18.5%	50	28.1%	15	8.4%	36	20.2%	26	14.6%
	2年度	88	24.0%	86	23.4%	24	6.5%	60	16.3%	38	10.4%
中学生	7年度	5	4.0%	51	41.1%	21	16.9%	7	5.6%	25	20.2%
	2年度	2	1.5%	57	42.5%	16	11.9%	7	5.2%	16	11.9%

		学習マンガ		雑誌		その他	
小学生	7年度	—	—	6	3.4%	12	6.7%
	2年度	45	12.3%	12	3.3%	14	3.8%
中学生	7年度	8	6.5%	1	0.8%	6	4.8%
	2年度	12	9.0%	11	8.2%	13	9.7%

【その他】

◎ 小学生

- ・ 恋愛マンガ。
- ・ 工作や料理。
- ・ 図鑑
- ・ 怖い本、髪型の本
- ・ 占いの本
- ・ ○○の秘密
- ・ ホラー小説
- ・ ひみつシリーズ
- ・ 小説・まんが・辞典
- ・ マンガ
- ・ ゴジラ

◎ 中学生

- ・ ジブリの本
- ・ マンガ
- ・ 怖い話
- ・ コミック

5. 読むマンガの種類（複数回答可、有効回答数：137、中学生：103）

		コミック		学習マンガ		どちらも0冊	
小学生	7年度	57	41.6%	29	21.2%	51	37.2%
	2年度	—	—	—	—	—	—
中学生	7年度	46	44.7%	10	9.7%	47	45.6%
	2年度	—	—	—	—	—	—

【マンガ冊数】							
◎ 小学生							
・ コミック	1～9冊	43人	10～29冊	9人	30冊以上	3人	
・ 学習マンガ	1～9冊	28人	10～29冊	1人			
◎ 中学生							
・ コミック	1～9冊	29人	10～29冊	11人	30冊以上	6人	
・ 学習マンガ	1～9冊	8人					

6. 「月0冊」の理由（複数回答可、有効回答数：小学生：34、中学生：29）

		時間がない		読みたいが見つからない		興味がない		他の遊びの方が楽しい		その他	
小学生	7年度	2	5.9%	4	11.8%	11	32.4%	14	41.2%	3	8.8%
	2年度	6	13.0%	3	6.5%	11	23.9%	23	50.0%	3	6.5%
中学生	7年度	6	20.7%	2	6.9%	9	31.0%	11	37.9%	1	3.4%
	2年度	7	21.2%	9	27.3%	10	30.3%	5	15.2%	2	6.1%

【その他】

◎ 小学生

- ・ 距離があるから。
- ・ 本より勉強するから
- ・ おもしろくないから

◎ 中学生

- ・ 本を全然持っていない。

7. 本の入手方法（複数回答可、有効回答数：小学生：166、中学生：120）

		書店・コンビニ・スーパー		ネットショッピング		学校図書室		砂川市図書館		他の図書館		知人から	
小学生	7年度	51	30.7%	15	9.0%	40	24.1%	19	11.4%	9	5.4%	1	0.6%
	2年度	133	37.9%	26	7.4%	101	28.8%	38	10.8%	17	4.8%	18	5.1%
中学生	7年度	60	50.0%	10	8.3%	9	7.5%	6	5.0%	2	1.7%	12	10.0%
	2年度	78	54.5%	7	4.9%	14	9.8%	10	7.0%	2	1.4%	18	12.6%

		電子書籍		その他	
小学生	7年度	27	16.3%	4	2.4%
	2年度	10	2.8%	8	2.3%
中学生	7年度	20	16.7%	1	0.8%
	2年度	13	9.1%	1	0.7%

【その他】

◎ 小学生

- ・ おさがりで頂いた本。
- ・ 親戚からもらう
- ・ じいちゃんばあちゃんから買ってもらう。
- ・ 家にある本。

◎ 中学生

- ・ 家族に借りています。

8. 「電子書籍」を利用する理由

（複数回答可、有効回答数：小学生33：、中学生：29）

		すぐに入手可能		場所を取らない		機能面の充実		その他	
小学生	7年度	21	63.6%	1	3.0%	8	24.2%	3	9.1%
	2年度	8	57.1%	3	21.4%	1	7.1%	2	14.3%
中学生	7年度	16	55.2%	8	27.6%	0	0.0%	5	17.2%
	2年度	10	50.0%	5	25.0%	3	15.0%	2	10.0%

【その他】

◎ 小学生

- ・ こうゆうのがあるんだ、じゃあこれ読んでみよう知識が広がるから
- ・ 検索するとき、すぐ検索できるから。
- ・ 読みたい本がすぐに選べる、探せる。

◎ 中学生

- ・ 無料で読める物が沢山あるから。
- ・ 本自体を失くすことがない。汚れない。
- ・ 興味がある本のシリーズなどを見つけやすい。
- ・ 種類が沢山ある。
- ・ 一つのサイトでいろいろなジャンルが見れる。

9. 学校の図書館・図書スペースの授業以外での利用頻度

(有効回答数：小学生：119/124、中学生：96/98)

		週に1回以上		2週に1回		月に1回		年に1～6回		利用しない	
小学生	7年度	41	34.5%	13	10.9%	16	13.4%	34	28.6%	15	12.6%
	2年度	25	12.0%	81	38.9%	25	12.0%	48	23.1%	29	13.9%
中学生	7年度	13	13.5%	5	5.2%	7	7.3%	15	15.6%	56	58.3%
	2年度	3	3.1%	6	6.3%	8	8.3%	22	22.9%	57	59.4%

10. 図書室・図書スペースをどのように利用しているか

(複数回答可、有効回答数：小学生：156、中学生：50)

		読書		本を借りる		勉強		調べもの		その他	
小学生	7年度	56	35.9%	47	30.1%	12	7.7%	27	17.3%	14	9.0%
	2年度	98	41.5%	104	44.1%	7	3.0%	20	8.5%	7	3.0%
中学生	7年度	17	34.0%	12	24.0%	9	18.0%	6	12.0%	6	12.0%
	2年度	16	29.1%	23	41.8%	7	12.7%	8	14.5%	1	1.8%

【その他】

◎ 小学生

- ・ マンガを読む。
- ・ 図書室にあるもので遊ぶ
- ・ けん玉、コマ、お手玉等で遊ぶため
- ・ 遊ぶ
- ・ 絵など
- ・ 皆でなぞなぞをする。
- ・ 委員会で利用。
- ・ 友達と話す。
- ・ 朝学習

◎ 中学生

- ・ 図書委員で当番の時に仕事で。
- ・ 友達と話す。
- ・ どんな本があるか見る。

11. 学校の図書館・図書スペースを利用しない理由

(複数回答可、有効回答数：小学生：65、中学生：119)

		行く時間がない		読みたい本がない・見つからない		雰囲気が好きではない		行かなくても読める		本に興味がない	
小学生	7年度	15	23.1%	15	23.1%	3	4.6%	8	12.3%	17	26.2%
	2年度	22	20.8%	25	23.6%	3	2.8%	18	17.0%	17	16.0%
中学生	7年度	37	31.1%	20	16.8%	8	6.7%	16	13.4%	18	15.1%
	2年度	37	32.5%	12	10.5%	2	1.8%	27	23.7%	11	9.6%

		貸出・返却が面倒		その他	
小学生	7年度	3	4.6%	4	6.2%
	2年度	8	7.5%	13	12.3%
中学生	7年度	16	13.4%	4	3.4%
	2年度	11	9.6%	14	12.3%

【その他】

◎ 小学生

- ・ 3階にあるので、教室を出るのが苦手だから
- ・ 電子書籍
- ・ 本はおもしろくないから
- ・ 遊びたいから

◎ 中学生

- ・ あまり行かない所だから少し躊躇してしまう。
- ・ 体育館が好きだから。
- ・ 行っているのか分からなくて不安。
- ・ 一人で行きにくい。

12. 砂川市図書館の利用頻度（有効回答数：小学生：118/124、中学生：94/98）

		週に1回以上		2週に1回		月に1回		年に1～6回		利用しない	
小学生	7年度	3	2.5%	4	3.4%	12	10.2%	31	26.3%	68	57.6%
	2年度	1	0.5%	5	2.3%	25	11.5%	84	38.5%	103	47.2%
中学生	7年度	1	1.1%	1	1.1%	5	5.3%	24	25.5%	63	67.0%
	2年度	0	0.0%	4	4.0%	4	4.0%	26	26.0%	66	66.0%

13. 砂川市図書館をどのように利用しているか

（複数回答可、有効回答数：小学生：74、中学生：43）

		読書		本を借りる		勉強		調べもの		行事に参加		その他	
小学生	7年度	17	23.0%	37	50.0%	7	9.5%	10	13.5%	3	4.1%	0	0.0%
	2年度	36	22.1%	98	60.1%	5	3.1%	11	6.7%	13	8.0%	0	0.0%
中学生	7年度	7	16.3%	16	37.2%	16	37.2%	2	4.7%	1	2.3%	1	2.3%
	2年度	18	28.6%	28	44.4%	10	15.9%	7	11.1%	0	0.0%	0	0.0%

【その他】

◎ 中学生

- ・ どんな本があるか見る。

14. 砂川市図書館を利用しない理由（複数回答可、有効回答数：小学生：109、中学生：126）

		行く時間がない		家から遠い		読みたい本がない・見つからない		雰囲気が好きではない		行かなくても読める	
小学生	7年度	31	28.4%	31	28.4%	2	1.8%	1	0.9%	16	14.7%
	2年度	41	25.9%	34	21.5%	13	8.2%	3	1.9%	36	22.8%
中学生	7年度	38	30.2%	27	21.4%	10	7.9%	5	4.0%	19	15.1%
	2年度	32	28.1%	18	15.8%	9	7.9%	4	3.5%	20	17.5%

		本に興味がない		貸出・返却が面倒		その他	
小学生	7年度	13	11.9%	11	10.1%	4	3.7%
	2年度	11	7.0%	13	8.2%	7	4.4%
中学生	7年度	12	9.5%	12	9.5%	3	2.4%
	2年度	9	7.9%	14	12.3%	8	7.0%

【その他】

◎ 小学生

- ・ 行く機会がないから
- ・ 本はおもしろくないから
- ・ 滝川図書館を利用しているから
- ・ 別な図書館に行っているから

◎ 中学生

- ・ 滝川図書館の方が近いから。
- ・ お母さんが買ってしてくれる。
- ・ 行くきっかけがないから。

15. 小さい頃に読み聞かせをしてもらったことがあるか

(有効回答数：小学生：119/124、中学生：94/98)

		よく読んでもらった		時々読んでもらった		ほとんど読んでもらってない		覚えていない		その他	
小学生	7年度	67	56.3%	28	23.5%	6	5.0%	18	15.1%	0	0.0%
	2年度	91	43.1%	89	42.2%	8	3.8%	21	10.0%	2	0.9%
中学生	7年度	40	42.6%	31	33.0%	4	4.3%	18	19.1%	1	1.1%
	2年度	44	45.4%	36	37.1%	1	1.0%	16	16.5%	0	0.0%

16. 他の人と本について話すか (有効回答数：小学生：119/124、中学生：93/98)

		ある		たまにある		ほとんどない		全くない	
小学生	7年度	22	18.5%	38	31.9%	35	29.4%	24	20.2%
	2年度	23	10.9%	86	40.8%	59	28.0%	43	20.4%
中学生	7年度	13	14.0%	30	32.3%	27	29.0%	23	24.7%
	2年度	23	23.7%	20	20.6%	33	34.0%	21	21.6%

17. 16. で「ある・たまにある」と答えた方、だれと本の話をするか

(複数回答可、有効回答数：小学生：99、中学生：62)

		家族		友だち		学校の先生		その他	
小学生	7年度	46	46.5%	41	41.4%	12	12.1%	0	0.0%
	2年度	72	48.0%	66	44.0%	12	8.0%	0	0.0%
中学生	7年度	22	35.5%	38	61.3%	2	3.2%	0	0.0%
	2年度	16	27.6%	40	69.0%	2	3.4%	0	0.0%

18. 他の人がすすめてくれた本を読むか

(有効回答数：小学生：118/124、中学生：93/98)

		ある		たまにある		ほとんどない		全くない	
小学生	7年度	25	21.2%	43	36.4%	26	22.0%	24	20.3%
	2年度	35	16.6%	76	36.0%	63	29.9%	37	17.5%
中学生	7年度	17	18.3%	38	40.9%	22	23.7%	16	17.2%
	2年度	27	27.8%	36	37.1%	24	24.7%	10	10.3%

4-3 小学3・5年生の保護者

1. あなたの年代は (有効回答数：小保護者120/124)

		20代		30代		40代		50代		60代以上	
小学生	7年度	2	1.7%	56	46.7%	56	46.7%	5	4.2%	1	0.8%
	2年度	8	3.8%	107	50.5%	88	41.5%	9	4.2%	0	0.0%

2. 本を読むことが好きか (有効回答数：小保護者120/124)

		はい		いいえ		どちらでもない	
小学生	7年度	56	46.7%	18	15.0%	46	38.3%
	2年度	95	44.8%	32	15.1%	85	40.1%

3. 本を読む頻度 (有効回答数：小保護者：120/124)

		ほぼ毎日		週に1回		月に1回		年に1～6回		1年読んでない	
小学生	7年度	14	11.7%	26	21.7%	12	10.0%	37	30.8%	31	25.8%
	2年度	23	10.8%	37	17.5%	38	17.9%	63	29.7%	51	24.1%

4. 本の入手方法 (複数回答可、有効回答数：小保護者203)

		書店・コンビニ・スーパー		ネットショッピング		学校図書室		砂川市図書館		他の図書館		知人から	
小学生	7年度	61	30.0%	42	20.7%	3	1.5%	26	12.8%	8	3.9%	5	2.5%
	2年度	156	41.2%	67	17.7%	—	—	40	10.6%	15	4.0%	15	4.0%
		電子書籍		その他									
小学生	7年度	55	27.1%	3	1.5%								
	2年度	76	20.1%	10	2.6%								

【その他】

◎ 小学生保護者

- ・マンガしか読まない。
- ・子供達が買う本を読んであげてる。
- ・砂川市図書館で読む。

5. 「電子書籍」を利用する理由

(複数回答可、有効回答数：小保護者：80)

		すぐに入手可能		場所を取らない		機能面の充実		その他	
小学生	7年度	36	45.0%	31	38.8%	8	10.0%	5	6.3%
	2年度	50	49.0%	34	33.3%	10	9.8%	8	7.8%

【その他】

◎ 小学生保護者

- ・持ち運びに便利。
- ・持ち運びが楽。
- ・サブスクに入ってるから
- ・読む場所を問わないから。
- ・すき間時間で無料で読める物のみ見えています。

6. 読書量や読書時間に満足しているか

(有効回答数：小保護者：118/124)

		十分満足		やや満足		やや満足できない		全く満足できない		どちらとも言えない	
小学生	7年度	21	17.8%	16	13.6%	26	22.0%	24	20.3%	31	26.3%
	2年度	29	14.1%	38	18.4%	38	18.4%	41	19.9%	60	29.1%

7. 6. で「やや満足できない」「全く満足できない」理由は何か

(複数回答可、有効回答数：小保護者：61)

		読む時間がない		買う・借りる時間がない		読みたい本が見つからない		読書の環境がない		その他	
小学生	7年度	47	77.0%	7	11.5%	0	0.0%	6	9.8%	1	1.6%
	2年度	74	73.3%	14	13.9%	5	5.0%	7	6.9%	1	1.0%

【その他】

◎ 小学生保護者

- ・マンガしか読む気がしない。
- ・読めるならずっと読んでいたい。

8. 「ブックスタート事業」を知っているか

(有効回答数：小保護者：118/124)

		体験した		未体験だが知っている		聞いたことがある		全く知らない	
小学生	7年度	72	61.0%	1	0.8%	6	5.1%	39	33.1%
	2年度	103	49.8%	5	2.4%	23	11.1%	76	36.7%

9. 8. で「体験した」方、ブックスタート事業の絵本を子どもに読み聞かせたか

(有効回答数：小保護者：72)

		よく読んだ		ある程度読んだ		あまり読んでない		全く読んでない	
小学生	7年度	51	70.8%	20	27.8%	1	1.4%	0	0.0%
	2年度	72	69.9%	28	27.2%	3	2.9%	0	0.0%

10. 8. で「体験した」方、ブックスタート事業は子どもが絵本を楽しむきっかけになったか

(有効回答数：小保護者：58)

		はい		いいえ		どちらとも言えない	
小学生	7年度	49	84.5%	1	1.7%	8	13.8%
	2年度	71	81.6%	0	0.0%	16	18.4%

11. 子どもは本を読むことが好きか（有効回答数：小保護者：119/124）

		好き		やや好き		やや嫌い		嫌い		どちらとも言えない	
小学生	7年度	29	24.4%	48	40.3%	19	16.0%	11	9.2%	12	10%
	2年度	66	31.9%	84	40.6%	21	10.1%	20	9.7%	16	8%

12. 子どもの読書は大切だと思うか（有効回答数：小保護者：119/124）

		大切だと思う		どちらかといえば大切		どちらかといえば大切ではない		大切ではない	
小学生	7年度	88	73.9%	31	26.1%	0	0.0%	0	0.0%
	2年度	—	—	—	—	—	—	—	—

図書館運営の状況

1. 図書館児童書蔵書数（児童書）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
購入冊数（冊）	509	489	485	497	482
蔵書冊数（冊）	32,454	32,950	33,609	34,045	34,519

2. 図書館児童利用統計（来館者数・貸出人数・貸出冊数）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0～12歳までの来館者数（人）	1,094	1,272	1,547	1,853	2,092
0～18歳までの貸出人数（人）	627	739	615	645	789
貸出冊数（冊）	13,069	11,919	11,577	12,224	12,646

※1) 児童書の貸出冊数（児童に限らない 一般利用者も含む）

3. 年齢別児童利用人数

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0～6歳	295	323	244	246	290
7～12歳	234	329	315	326	443
13～15歳	73	48	21	41	20
16～18歳	25	39	35	32	36

4. 事業参加人数

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
おはなしのいずみ	63	54	97	104	131
赤ちゃんのおはなしばたけ	62	71	106	139	174
ブックスタート	66	85	82	67	79
図書館おたのしみ会・春	新型コロナ蔓延により中止	新型コロナ蔓延により中止	11	15	-
図書館おたのしみ会・夏	11	13	12	46	57
図書館おたのしみ会・秋	18	19	15	-	-
おはなしのいずみ クリスマススペシャル	-	-	-	-	51
出張おはなし会	388	269	282	669	183
1日子ども図書館体験	新型コロナ蔓延により中止	3	5	2	4
子ども手づくり絵本教室	11	14	9	13	-

5. 砂川市における1日に本を全く読まない子どもの割合（全国学力・学習状況調査より）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学6年生	新型コロナ蔓延により調査中止	39.2%	39.2%	33.8%	質問項目なし
中学3年生	新型コロナ蔓延により調査中止	37.0%	33.6%	35.8%	質問項目なし

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他 必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

- 2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の概要

趣旨

- 「子どもの読書活動の推進に関する法律」(H13)に基づき、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(計画期間はおおむね5年)を策定
- 子どもの読書活動の推進に関する有識者会議による議論を経て、R5～9年度の子どもの読書活動推進に関する基本方針と具体的方策を明らかにする

第1章 近年における子どもの読書活動に関する状況等

子どもの読書活動に関する取組の現状

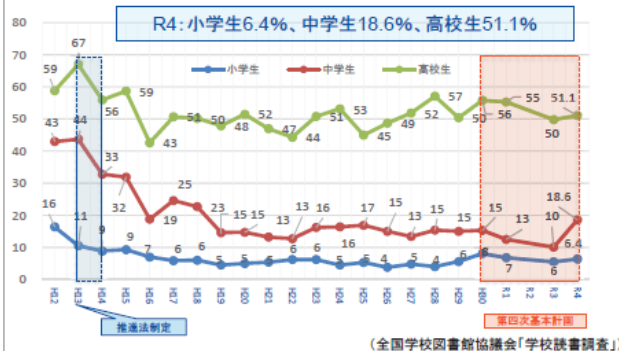
- 増加している点：図書館数、図書館でのオンライン閲覧目録の導入率、学校司書を配置する学校等の割合は増加
- 減少している点：図書館の児童用図書の貸出冊数、全校一斉の読書活動を行う学校の割合は減少

子どもの読書活動の現状

不読率の現状

目標：R4年度末までに不読率：小学生2%以下、中学生8%以下、高校生26%以下
※不読率＝1か月の間に本を1冊も読まない児童生徒の割合

現状：不読率の推移(%) いずれの学校段階でも数値目標は達成されていない



新型コロナウイルスの感染拡大

○各学校の臨時休業、図書館の臨時休館等により、図書へのアクセスがしにくい状況が影響を与えた可能性

○小学生から高校生までの子供の不読率は、令和元年度から令和3年度、全国一斉臨時休業等を経て上昇
※令和元年～2年、自宅学習が難しい小学校低学年、中学校、高等学校入学直後の学年に不読率が特に上昇、本を読む時間が減少、漫画や雑誌を読む時間が増加

(令和4年度子供の読書活動の推進に関する有識者会議(第4回)発表資料)

読書量・読解力の現状

○1か月間の平均読書冊数は、いずれの学校段階でも、推進法が制定された平成13年よりも令和4年の方が多い
(小学生6.2冊→13.2冊、中学生2.1冊→4.7冊、高校生1.1冊→1.6冊)
(全国学校図書館協議会「学校読書調査」)

○日本の子どもの読解力の平均得点は、OECD平均より高得点のグループに位置している(加盟国37カ国中11位)
※日本は漫画やフィクションを読む生徒の割合が高い。新聞、フィクション、ノンフィクション、漫画のいずれも、よく読む生徒の読解力の得点が高い

(OECD 生徒の学習到達度調査2018年調査)

第2章 基本方針

急激に変化する時代において、必要とされる資質・能力を育む上で、読解力や想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進は不可欠であり、全ての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられるよう、以下の点を考慮し、社会全体で子どもの読書活動を推進する

1 不読率の低減

就学前からの読み聞かせ等の促進、入学時等の学校図書館のオリエンテーション等の充実

不読率が高い状態の続く高校生：探究的な学習活動等での図書館等の活用促進、大人を含めた読書計画の策定等

2 多様な子どもたちの読書機会の確保

障害のある子ども、日本語指導を必要とする子ども等、多様な子どもの可能性を引き出すための読書環境を整備

3 デジタル社会に対応した読書環境の整備

社会のデジタル化、GIGAスクール構想等の進展等を踏まえ、言語能力や情報活用能力を育むとともに、緊急時等を含む多様な状況における図書への継続的なアクセスを可能とするために、図書館及び学校図書館等のDXを進める

4 子どもの視点に立った読書活動の推進

子どもが主体的に読書活動を行えるよう、子どもの意見聴取の機会を確保し、取組に反映させる

第3章 子どもの読書活動の推進体制等

- 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制整備に努める
- 都道府県、市町村は、子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画策定に努める(推進法第9条)
- ※ 地方公共団体の判断により、教育振興基本計画など他の計画との統合や他の地方公共団体との共同策定も可能

市町村 市町村推進計画策定率の数値目標(令和4年度末までに、市100%、町村70%以上)を達成(令和3年度:市:93.9%、町村:74.4%)
目標:市:100% 町村:80%以上

都道府県

- 都道府県立図書館を活用した市町村への支援
- 域内市町村への助言、取組・施策の紹介
- 高等学校、私立学校等を所管する立場から、高校生や私立学校に通う子どもに着目した読書活動の推進等の関連施策の実施

国

- ICTを活用した取組、市町村計画策定状況、読書推進にかかる人材の育成、多様な子どもの読書環境の整備等について、調査等を通じ、実態把握・分析
- 地方公共団体・図書館・学校図書館等の運営の参考となる資料等を全国に共有

第4章 子どもの読書活動の推進方策①

子どもの読書活動の推進に当たっては、家庭、地域、学校等が中心となり、社会全体で取り組む必要がある

I 共通事項

1 連携・協力

- 教師(司書教諭を含む)、学校司書、保育士、司書、指導主事、社会教育主事、ボランティア等、関係者の連携・協力
- 地域における学習資源・人的資源の共有
 - ・地域の図書等資料の有効活用、読書バリアフリーコンソーシアムの推進等
 - ・地域学校協働活動の推進(コミュニティ・スクールとの一体的な推進)
 - ・読書活動など体験活動に関するポータルサイトの構築

2 人材育成

- 読書バリアフリー法やICT環境の変化を踏まえ、
 - ・司書等の講習・研修等の見直し
 - ・国が実施する講習のオンライン化の推進

3 普及啓発

- 国等による「子ども読書の日(4/23)」の普及促進(子どもの読書活動推進フォーラム)
- 文部科学大臣表彰等の対象範囲の拡大(幼児教育関係分野)

4 発達段階に応じた取組

- 多様な子どもの状況に応じ、乳幼児期からの切れない支援の促進(乳幼児健診等の機会を通じて絵本を配布する取組等)
- 不読率の状況を勘案し、学校種間の移行段階に着目した取組の促進(入学時等の学校図書館のオリエンテーション等)

5 子どもの読書への関心を高める取組

- 子どもが主体となって実施する活動や協働的な活動の推進(読書会(ビブリオバトル)、子ども司書、図書委員、まわし読み新聞等)
- ICTの活用による既存の取組の更なる参加促進(オンライン読み聞かせ、読書記録アプリ等)
- 全ての子どもが参加しやすさを考慮した取組の促進(手話、多言語対応等)

II 家庭

- 家庭教育支援の一環として位置づけ、家庭での読書活動の習慣化を推進
 - ・家庭教育支援チームの配置促進を図るとともに、その際「ブックスタート」、「家読(うちどく)」等の活動推進

第4章 子どもの読書活動の推進方策②

子どもの読書活動の推進に当たっては、家庭、地域、学校等が中心となり、社会全体で取り組む必要がある

III 地域(図書館)

- 地域における読書活動の推進を図るため、以下の取組を促進
 - 多様な子どもたちの読書機会の確保
 - ・アクセシブルな電子書籍・書籍等(点字資料等)の整備・提供
 - ・多言語・やさしい日本語による利用案内
 - ・地域の子どもの親しみやすい講座、体験活動等に関連付けた取組
 - ・民間団体(子ども食堂等)への貸出、出前おはなし会
 - デジタル社会に対応した読書環境の整備
 - ・電子書籍貸出サービス、デジタルアーカイブの充実
 - ・オンラインでのイベント開催(読書会、読み聞かせ)
 - 子どもの視点
 - ・イベント等への企画段階からの子どもの参画
 - ・子どもの要望を取り入れた資料・環境整備(YA(ヤングアダルト)コーナーの設置、子どもが立ち寄りやすく心地よい読書環境づくり)
- 図書館の設置・運営及び資料の充実
 - ・図書館資料の計画的整備
 - ・施設整備に係る官民連携の取組やデジタル化の推進
 - ・「望ましい基準」の見直しの検討
- 司書等の配置の促進

IV 学校等

- 学校等における読書活動の推進を図るため、以下の取組を促進
 - 多様な子どもたちの読書機会の確保
 - ・特別支援学校含めた学校図書館資料の整備
 - ・多様な背景を持つ子どもへの読書機会の場の提供
 - ・図書館、ボランティア等との連携
 - ・団体貸出、出張読み聞かせ、絵本を通じた異年齢交流会、各教科等における図書館の活用促進等)
 - デジタル社会に対応した読書環境の整備
 - ・1人1台端末の活用(学校図書館システム等のリンク等)
 - ・電子書籍貸出サービスの導入(図書館の電子書籍貸出サービス等との連携)
 - ・学校図書館図書情報のデータベース化
 - 子どもの視点
 - ・子どもの意見聴取の機会の確保
 - ・図書委員等の子どもの学校図書館の運営への主体的な参画
- 学校図書館資料の計画的整備
 - ・第6次学校図書館図書整備等5か年計画に基づく整備推進
 - ・「学校図書館ガイドライン」等の見直しの検討
- 司書教諭、学校司書の配置の促進

V 民間団体

- 民間団体における読書活動の推進を図るため、以下の取組を促進
 - ・読書週間等のキャンペーン、読書感想文コンクール、フォーラムの開催
 - ・専門的知識を有する者の養成(絵本専門士等)
 - ・地域における読み聞かせ等の活動の推進(図書館のボランティア登録制度の充実)
- 民間団体やボランティアの取組の周知・推奨及び子どもゆめ基金による助成等

北海道子どもの読書活動推進計画〈第五次計画〉【概要版】

＜2023（令和5）～2027（令和9）年度＞

第1章 計画の基本的な考え方

◆ 計画策定の趣旨とその背景

- 子どもの読書活動は、社会全体で推進を図る必要
- 第四次計画の成果と課題を踏まえた内容
- 社会の変化や国の新たな施策等に対応した内容

◆ 国や道の動向

- 国：読書バリアフリー法の公布・施行（2019.6）
- 国：GIGAスクール実現推進本部設置（2019.12）
- 道：地学協働活動実証事業「CLASSプロジェクト」開始（2021.4）

基本 理念

北海道の全ての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭・地域・学校等の連携を進め、積極的にその環境整備を図る

◆ 計画の性格

- 「子どもの読書活動の推進に関する法律」の第9条に基づき策定
- 「北海道教育推進計画」の個別計画として策定
- 社会全体で北海道の子どもの読書活動の推進に取り組むための方向性を示すもの

◆ 推進状況の把握

推進状況については、「北海道子ども読書活動推進会議」に報告し、その意見等を踏まえて、計画の効果的な推進に努める

◆ 「第四次計画」の進捗状況及び成果と課題

【成果】

- 子どもの読書活動推進計画を策定した市町村が増加したこと
- 学校図書館図書標準の達成や学校司書の配置が、目標値には届かないものの、全ての校種で改善の傾向が見られること

【課題】

- 家や図書館で普段10分以上読書をする児童生徒の割合が減少していること
- 「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に事業を実施している市町村数が減少していること など

第2章 子どもの読書活動推進のための方策

1 〈基本目標1〉社会全体での子どもの読書活動の推進

【推進方策1-1】家庭における読書活動の推進

- ① 子どもの読書習慣の定着
 - 食後や週末など時間や日を決めて家族全員が読書をしたり、読んだ本について会話したりすること
 - 保護者自身が、市町村が実施する講座や読み聞かせ会等も活用しながら、読書に親しむこと
- ② 保護者の読書活動への理解の促進
 - ブックスタート事業やブックスタートに準じた事業の充実
 - 北海道子ども読書応援団などのボランティア団体や子育てサークルによる読書活動の促進

【推進方策１－２】 地域における読書活動の推進

- ① 図書館サービスの充実
 - 子どもの視点に立ったサービスの改善
 - まちづくりの拠点として、子どもや大人をつなぐ交流の場の創出
 - 「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」における事業の実施と情報の提供
- ② 学校等の連携・協力
 - 児童生徒の調べ学習や探究活動等の授業の支援
 - 学校図書館や学級文庫等への図書館資料の団体貸出し

【推進方策１－３】 学校等における読書活動の推進

- ① 読書指導の充実
 - 一斉読書や書評合戦（ビブリオバトル）等の読書を推進する取組の実施
 - 各教科等における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学校図書館の活用
 - １人１台端末と学校図書館を活用した学習による情報活用能力を育成する活動
- ② 家庭や地域との連携・協力
 - 保護者やボランティア、公立図書館、民間団体等との連携による読書活動

<基本目標１> の目標指標

- 【指標１】「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に子どもの読書活動に関する事業を実施している市町村数
- 【指標２】授業（総合的な学習の時間、総合的な探究の時間）で学校図書館を活用している学校の割合
- 【指標３】公立図書館や様々な人材と連携した取組を行っている学校の割合

２〈基本目標２〉子どもの学びを支える読書環境の整備

【推進方策２－１】 地域における読書環境の整備

- ① 公立図書館の資料・設備等の整備
 - ヤングアダルトコーナーの設置など、子どもが立ち寄りやすい環境の整備
 - 電子書籍や点字図書、音声図書、拡大図書など、障がいのある子どもでも利用しやすいアクセシブルな書籍や設備の整備
 - 電子書籍を含む電子資料の利用促進
- ② 読書活動の推進・支援体制の整備
 - 子ども読書活動推進計画の策定、施策の実施、点検・評価及び改定
 - 他の公立図書館や学校図書館との連携による資料の相互貸借
 - 図書館及び学校図書館の担当職員等を対象とする研修の実施

【推進方策２－２】 学校等における読書環境の整備

- ① 公立学校図書館等の資料・設備等の整備
 - 学校図書館図書標準の達成に向けた図書の整備
 - 児童生徒の発達段階、学校・地域の実情に応じた適切な新聞の複数紙配備
 - 蔵書のデータベース化の導入
 - 電子管理を活用した貸出・返却
 - 電子書籍の導入や１人１台端末との連携の検討
- ② 人的配置の推進と運営体制の充実
 - 司書教諭の役割等の理解促進
 - 学校司書の配置促進
 - 図書館及び学校図書館の担当職員等を対象とする研修の実施

<基本目標２> の目標指標

- 【指標４】所管の公立図書館（室）において、障がいがあっても利用しやすい形式の書籍の導入やサービスの提供をしている市町村数
- 【指標５】学校図書館において、蔵書の電子管理をしている学校の割合
- 【指標６】学校司書を配置している学校の割合

発達段階に応じた読書活動

「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第5次基本計画）」より

① 就学前（幼稚園、保育所、認定こども園等）の時期（おおむね6歳頃まで）

乳幼児期には、周りの大人から言葉を掛けてもらったり乳幼児なりの言葉を聞いてもらったりしながら言葉を次第に獲得するとともに、絵本や物語を読んでもらうこと等を通して絵本や物語に興味を示すようになる。さらに様々な体験を通してイメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の世界を楽しむようになる。

② 小学生の時期（おおむね6歳から12歳まで）

- ・低学年では、本の読み聞かせを聞くだけでなく、一人で本を読もうとするようになり、語彙の量が増え、文字で表された場面や情景をイメージするようになる。
- ・中学年になると、最後まで本を読み通すことができる子どもとそうでない子どもの違いが現れ始める。読み通すことができる子どもは、自分の考え方と比較して読むことができるようになるとともに、読む速度が上がり、多くの本を読むようになる。
- ・高学年では、本の選択ができ始め、その良さを味わうことができるようになり、好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める一方で、この段階で発達がとどまったり、読書の幅が広がらなくなったりする者が出てくる場合がある。

③ 中学生の時期（おおむね12歳から15歳まで）

多読の傾向は減少し、共感したり感動したりできる本を選んで読むようになる。自己の将来について考え始めるようになり、読書を将来に役立てようとするようになる。

④ 高校生の時期（おおむね15歳から18歳まで）

読書の目的、資料の種類に応じて、適切に読むことができる水準に達し、知的興味に応じ、一層幅広く、多様な読書ができるようになる。